

一般社団法人 日本非破壊検査協会
2019 年度 鉄筋コンクリート構造物の非破壊試験部門
ミニシンポジウム
「歴史的建造物の非破壊検査」
— 投稿・発表および参加募集(案) —

| | |
|----------|----------------|
| 開催日 | 2020年3月2日(月) |
| 論文投稿申込締切 | 2019年11月29日(金) |
| 論文原稿提出締切 | 2020年1月24日(金) |

主催 (一社) 日本非破壊検査協会 鉄筋コンクリート構造物の非破壊試験部門
期日 2020年3月2日(月) 9:30~18:00
会場 亀戸文化センター(カメラアプラザ) カメラホール (3階)
東京都江東区亀戸2-19-1
<https://www.kcf.or.jp/kameido/>

主旨

鉄筋コンクリート構造物の非破壊試験部門では、日本非破壊検査協会平成28年度非破壊検査総合シンポジウムにおいて、「歴史的建造物の保存のための調査設計技術」のセッションを設け、歴史的建造物に展開する非破壊試験のあり方を模索いたしました。歴史的建造物を取り巻く非破壊検査に関連する活動をみると、日本コンクリート工学会では、平成27年度より長崎市から研究委託を受け、野口貴文東京大学教授を委員長とした「供用不可まで劣化破損が進行したコンクリート構造物の補修・補強工法に関する研究委員会」、引き続き平成29年度より「危急存亡状態のコンクリート構造物対応委員会」を設置して活動されております。また、平成28年度から令和2年度までの予定で、国内外の歴史的建造物を対象に名古屋市立大学青木孝義教授を代表として、日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(S)課題「歴史的建造物のオーセンティシティと耐震性確保のための保存再生技術の開発」の研究が展開されています。このように歴史的建造物の維持管理・保存に関する議論が活発になっている中、非破壊検査に寄せられる期待は大きなものになっています。

本ミニシンポジウムでは、このような状況を鑑み、歴史的建造物への非破壊検査の適用における国・地域の行政の期待・考え方、検査対象品質、適用可能な試験方法の開発・提案、適用例などに関するパネルディスカッション、論文講演(この案内にて募集)で構成しています。本ミニシンポジウムを通して、歴史的建造物への非破壊試験の適用の現状を整理し、今後の日本非破壊検査協会の活動展開に役立てたいと考えております。

RC部門登録者の皆様、歴史的建造物の維持管理の行政や実務に携わっておられる方々、研究者の方々そして学生諸君に奮ってご参加いただけましたら幸いです。

プログラム (予定) : 講演数等により時間配分を調整・変更する場合があります。

9:30~9:50 開会挨拶および主旨説明 湯浅 昇 (日本大学)

9:50~14:20 一般講演 (論文発表)

講演内容: 歴史的建造物への非破壊検査の適用における期待・考え方、適用可能な試験方法の開発・提案、適用例 (既発表内容も可)

14:30~17:50 パネルディスカッション

「歴史的建造物の非破壊検査はどうすすめるか」

司会: 今本啓一 (東京理科大学)、濱崎 仁 (芝浦工大)

基調講演:

- ① 長谷川直司 (国土技術政策総合研究所)
- ② 青木孝義 (名古屋市立大学)
- ③ 野口貴文 (東京大学)
- ④ 未定 (文化財建造物保存技術協会)
- ⑤ 佐藤大輔 (コンステック)

17:50~18:00 ミニシンポジウムの総括と閉会の挨拶: 濱崎 仁 (前掲)

[1] 論文投稿申込および論文原稿提出

投稿内容 歴史的構造物に適用可能な非破壊試験の開発研究やその適用例。

既発表内容も可

- ① オーセンシティに関する論文
- ② 材料同定・材料評価に関する論文
- ③ 構造性能評価に関する論文
- ④ 環境評価に関する論文
- ⑤ 形状計測、計測技術に関する論文
- ⑥ 試験方法開発・提案に関する論文
- ⑦ モニタリングに関する論文
- ⑧ 対策（補修・補強、環境制御）に関する論文
- ⑨ 事例に関する論文

申込資格 特に無し。

ただし、連名者は最大で合計5名まで（講演者+連名者で合計6名まで）。

投稿申込 事務局へご連絡下さい。折り返し、申込用紙のメールをお送りします。

* 投稿申込料は不要ですが、参加費は必要です。講演者は下記[2]の参加申込をお願いします。

* 講演者1人につき複数題ご発表頂くことは可能です。

採否 ミニシンポジウムの目的を勘案のうえ、RC部門幹事会にて採否を決定します。

執筆 ホームページで「(一社)日本非破壊検査協会 秋季講演大会講演概要集」の執筆要領をご参照ください。
原稿の頁数は4頁以上8頁以内の複数頁とします。

原稿提出 論文投稿申込を頂いた方に、執筆要領および原稿提出方法のメールをお送りします。
期日までに原稿を提出してください。

[2] ミニシンポジウム 参加申込

定員 400名程度

参加費 印刷物とCDの資料代

鉄筋コンクリート構造物の非破壊試験部門登録個人・団体会員：1,000円

講演者：1,000円

依頼PD登壇者：無料

上記以外の方：2,000円（学生1,000円）

申込期限 定員になり次第締め切ります。

申込方法 参加申込書を事務局へお送りください。

[3] RC部門創設30周年式典参加申込

ミニシンポジウム当日、18:00から日本非破壊検査協会RC部門の創設30周年式典が開催されます。

参加資格はありませんので、合わせて参加いただければ幸いです。

期日 2020年3月2日（月） 18:00～20:00

会場 アンフェリシオン（予定）(<https://www.anfelicion.jp/#access>)

※亀戸文化センターから徒歩4分

参加費 8,000円（予定）

申込方法 参加申込書を事務局へお送りください。

[4] 講演要領

(1) 参加申込をお済ませください。

(2) 講演時間（予定）は以下の通りです。

| 講演時間 | 質疑時間 |
|------|------|
| 10分 | 5分 |

(3) 各自の講演用ファイルを含むノートパソコン（電源ケーブル含む）をご持参ください。

[5] 事務局（お問合せ先）

〒136-0071 東京都江東区亀戸2-25-14 立花アネックスビル10階

一般社団法人 日本非破壊検査協会 学術部 学術課 蒲生康一

Tel : 03-5609-4015 Fax : 03-5609-4061 E-mail : gamou@jsndi.or.jp